

波瀾万丈なデコボコ道を駆け上がったCHERRY GIRLS

PROJECT。10月20日、新宿BLAZE単独公演に挑む!!



輝きを放つグループの歩みには、何時だって語りたくなるドラマが刻まれている。CHERRY GIRLS PROJECTが活動を始めたのが、2017年3月

。当初はTシャツに短パン姿で1年ほど活動を行えば、持ち歌も2曲のみ。20分ステージで同じ曲を繰り返し歌うことも。プロデューサーも付かず、本当なら5人編成で始まるはずが、デビュー前に3人が離脱し、ユニットスタイルで活動をスタートするなど、けっして恵まれた環境から始まったわけではなかった。唯一のオリジナルメンバー来瞳舞夢は、「波瀾万丈な始まりで、当初は心挫けそうでした」とも語っている。

だが、メンバー内での競争心を煽る活動を支持する人たちが次第に増え、1年後にAKIBAカルチャーズ劇場で行った1stワンマン公演をソールドアウトさせた。そこから快進撃が続くかと思われたが、半年後にCROKET MIMIC

TOKYOで行われた2ndワンマン公演は集客75名という厳しい結果に。さらにメンバーの相次ぐ脱退など、一気に状況は暗転していった。

その窮地を救ったのが、九瀬いむの加入だった。新たに3人編成になったCHERRY GIRLS PROJECTは、3人の個性を全面に押し出そうと、YouTubeを通した宣伝活動も積極的に実施。メンバーの特異な個性が評判を呼び、メンバーの直訴により実現した2019年3月

に東京FMホールを舞台に行った3rdワンマン公演をふたたびソールドアウトさせた。

さらに、この公演で幅広い支持を得た新曲「神さま、お願い。」をはじめ「楽曲派」としてイメージが広がりつつあった面をより際立たせようと、プロデューサーに、L'Arc en Cielなどを手がける岡野ハジメを起用。持ち歌のクオリティは格段に飛躍。次第に「楽曲派」の言葉に相応しいクオリティの高い曲を生み出し続ける反面、華やかなステージングとは裏腹に、影を背負った曲たちが「心に闇(病み)を抱えた」人たちからの共感も集め、10代の少女たちという新しいファン層も獲得。支持を広げていった。

そこからさらに大きな舞台を…と思っていた矢先、メンバーの中でも人気の高かった弘島友加里が就職の為に卒業。コロナ禍の影響から活動も停滞。だが、そこで歩みを止めることなく、CHERRY GIRLS

PROJECTはより進化した姿へ転身しようと、3人のメンバーを招き入れた。それが、アイドル経験のある優希瞳、アイドル未経験ながら光る才能を持った大学生の真志取みらい、プロ野球のチアガールとして球場で7年間SHOWを行ってきた真汐里緒だった。

彼女たちは、新体制として一つの挑戦を掲げた。それが、10月20日(火)

に新宿BLAZEで行う4thワンマン公演「Dialog」になる。この日は、バンド演奏を従えてのステージ。そこには、ロックファンなら誰もが知るメンバーの名前も。そこは、近いうちに改めてお伝

えしたい。当日は、配信でもライブの模様を届けるので、現場に足を運べない方は、オンラインを通して楽しんでいただきたい。

最後に、CHERRY GIRLS

PROJECT結成時から、現在に至るまでのことを語ったメンバーのインタビューをお届したい。

「わたしは絶対にあきらめない」強い気持ちを持って活動をしていました。

——CHERRY GIRLS PROJECTの初期メンバーが…。

来瞳舞夢

わたしが、唯一の初期メンバーになります。活動当初は、なかなか波瀾万丈でしたね(笑)。もともとCHERRY GIRLS

PROJECTは研修生ユニットのようなノリで誕生すれば、楽曲の方向性も当初は決まっていなかったし、衣装もなく、プロデューサーも不在でTシャツと短パン姿で長く活動をしていました。

CHERRY GIRLS

PROJECTはユニットとしてデビューしていますが、もともとは5人編成でスタートの準備を始めていたんですね。それが、デビューの時点では2人しかメンバーが残っていない。持ち歌も2曲のみ。20分ステージというライブに出たときは、同じ曲を2回まわしもしていました。その後、メンバーが6人にまで増えましたが、当時のメンバーの意識がプロとしての自覚が弱ければ、友達どうしの馴れ合いの関係で活動をしていたせいか、なかなか動員へ結びつかず。ときには、メンバーよりも動員が少ないライブも経験しています。

——本当に波瀾万丈な始まりだったんですね。よく、心挫けそうになりましたね。

来瞳舞夢

いえ、けっこう心挫けそうでした(笑)。だけど、「絶対に成功してやる」気持ちが強かったし、たとえ他のメンバーはやる気を失くして辞めても、「わたしは絶対にあきらめない」強い気持ちを持って活動をしていました。

所属になったのがCHERRY GIRLS PROJECTだったから、「終わった…」と思いました。

——一次に加入したのが、九瀬いむさんですよね。CHERRY GIRLS

PROJECTには、何時頃加わったのでしょうか。

来瞳舞夢 CHERRY GIRLS PROJECTとして活動を始めてから2年経たない頃でしたね。

九瀬いむ

わたし、事務所のオーディションを受けたときに「売れたいです」と言って入ったんですけど。所属になったのがCHERRY GIRLS PROJECTだったから「終わった…」と思いました。

来瞳舞夢 失礼だなあ(笑)。でも、当時のCHERRY GIRLS

PROJECTのことを見たら、そう思うのもわかる。

——当時のCHERRY GIRLS PROJECT、いむさんにはそう見えていたんですね。

九瀬いむ

はい、ヤバいと思いました。ただ、入った以上、1年間は様子を見つつ頑張ろうと決めてました。

——今でもメンバーということは、CHERRY GIRLS

PROJECTに感じるものがあったということですね。

九瀬いむ

舞夢ちゃんがすごい頑張ってるから、「一緒に頑張りたい」とだんだん思うようになって、2年目に入ります。

——いむさんが加入した頃が、CHERRY GIRLS

PROJECTの中身も固まりだしていた時期になるのでしょうか?

来瞳舞夢

結成から2年近くは方向性も無く、良く言えばいろんな振り幅を持って活動していたんですけど。いむちゃんが入った頃から、総合プロデューサーのMr.K（作詞も担当）に加え、多くのアーティストを手掛ける岡野ハジメさんをプロデューサーに迎え、少しずつクオリティの高い曲を表現する「楽曲派」へシフトチェンジしたように、いむちゃんは、CHERRY GIRLS PROJECTに変化のきっかけを与えてくれた存在なんです。

九瀬いむ

加入したばかりの頃は、目の前の道がもやもやとしていて視界が見えなかつたんですけど。わたしを含めて6人いたメンバーがMr.Kの意向で3人になり、そこから楽曲の方向性も見えてきたのに合わせて視界もどんどん晴れていけば、ファンの方々からも「CHERRY GIRLS PROJECTすごく良くなつたね」と言われることも増えました。

来瞳舞夢

3人体制で1年ほど活動。今年の春に就職で一人卒業し、その後に今の3人を迎えて現体制になりました。

わたし自身がアイドルさんの活動を通して夢や感動をもらったのと同じように、わたしも「夢や感動を届けられる」立場にいられるのはとても素敵なこと。

——3人のCHERRY GIRLS PROJECTに対する印象を聽かせてください。

真汐里緒 わたし、事務所のオーディションを受けるまで、正直CHERRY GIRLS PROJECTの存在は知りませんでした。ただ、応募に当たって、YouTubeで所属グループの映像をいろいろ観ていく中、楽曲や方向性がしっかりしているCHERRY GIRLS PROJECTにわたしは強く惹かれました。中でも「ノンフィクション」（YouTubeのチャリガチャンネルで配信中）のライブ映像を観たときに、メンバーさんが強い意志を持って活動しているのが伝わってきたことから、「わたしはCHERRY GIRLS PROJECTのメンバーになりたい」という気持ちを持ってオーディションを受けた結果、メンバーになれました。

真志取みらい

わたし、中学生の頃からずっとアイドルになりたくて、いろんなオーディションサイトを見ていました。でも当時から親の反対を受け、夢を抱きつつも挑戦するまでには至らずの日々を過ごしてきました。だけど、大学生になってもオーディションサイトをチェックしていた自分がいたことから、「わたしが本当にやりたいのはアイドルなんだ」「一度も挑戦せずにあきらめるのは嫌」と思い、挑戦することを決めました。ただし、オーディションへ応募しようにも、わたし自身が強く惹かれる環境がなかったから、無理に応募することなく、オーディション情報を変わらずチェックし続けていたんですけど。今の事務所のアイドル募集のオーディションが目に入り、所属しているCHERRY GIRLS

PROJECTの映像を観たときに、「神さま、お願ひ。」の曲に一回で惚れ込み、「この曲を歌いたい」と思いました。他の楽曲もチェックしていく中、次第にCHERRY GIRLS PROJECTのメンバーになりたい気持ちが強くなり、オーディションへ応募。今、ここにいます。

——憧れていたアイドルになって、どうですか？

真志取みらい

まだまだ表現する難しさを感じている時期ですけど。同時に、わたし自身がアイドルさんの活動を観て夢や感動をもらったのと同じように、わたしも「夢や感動を届けられる」立場にいられるのはとても素敵なことだと思って、活動をしています。

優希瞳 わたし、CHERRY GIRLS

PROJECTへ入る前に別のアイドルグループで活動をしていて、CHERRY GIRLS PROJECTさんともよく対バンしていました。当時からCHERRY GIRLS PROJECTさんは、楽屋で一緒になっても、他のアイドルさんたちとは違う空気を出していました。CHERRY GIRLS

PROJECTのメンバーさんはいつも楽曲やステージング、メンバー自身の気持ちなど、いかにグループを良くしていくかの話をしているんですね。その意識の高さが人気や支持に繋がっているんだと感じていたし、その姿が恰好いいなと憧れていきました。

わたし、アイドル活動を通して、目の前のお客さんたちを笑顔にしたり、ライブパフォーマンスを通して「元気が出たよー」と言いながら、ニコニコしてくれるファンの人たちを見るのがすごく好きだったんですね。訳あって前のグループを卒業したんですけど、それがどうしても忘れられなくなっていたところ、オーディションの告知を発見。わたし自身がCHERRY GIRLS PROJECTさんに憧れを持っていたことから応募し、今に至りました。

来瞳舞夢

3人は、最近入ったとは思えないくらい一生懸命。わたしたちがここまでに積み重ねてきたものへたった数ヶ月で追いつこうとしているように、すごく頼もしいです。

TEXT:長澤智典

MISS YOU 【CHERRY GIRLS PROJECT】 MV

モンスター 【CHERRY GIRLS PROJECT】 MV

★インフォメーション★

CHERRY GIRLS PROJECT 4th ワンマンライブ

「Dialog」

2020年10月20日（火）

会場 新宿BLAZE

e+で発売中

<https://eplus.jp/sf/detail/3300730001-P0030001P021001?P1=1221>

CHERRY GIRLS PROJECT '' 来瞳舞夢生誕祭 ''

2020年9月20日（日）

Veats Shibuya

18:00OPEN/18:30START

入場料金：3,500円 (TIGET販売) +1Drink※入場制限があります

当日料金：4,500円 (予約取り置き無し)

MC：ヲタル アシスタント：そらるる

出演：来瞳舞夢/CHERRY GIRLS PROJECT/CHERIE GIRLS

PROJECT/fairy☆elements/+Sugar./東京23区ガールズ

※フェイスガード&マスク必須

チケットはこちらからご購入ください。

<https://tiget.net/events/103224>

CHERRY GIRLS PROJECT Web

<https://www.cgp.tokyo/>

CHERRY GIRLS PROJECT twitter

https://twitter.com/cgp_db

CHERRY GIRLS PROJECT YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCCTvSTQ0N9YiANIFo8QsuXw>

来瞳舞夢@maimu_db

九瀬いむ@iMu_cg

優希瞳@hitomi_cg

真志取みらい@mirai_cg

真汐里緒@mrio_cg

ノンフィクション

アイドルの闇に抗う少女篇

夢を阻む見えないモンスター篇 前編

夢を阻む見えないモンスター篇 後編

MV

僕たちの為に、あの鐘は鳴る

神さま、お願い。

衝動のemotion

ナキタイナ

アンチエーター

Generated by ぶれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>